

PAT-NO: JP02001357101A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001357101 A
TITLE: ITINERARY GUIDE SYSTEM
PUBN-DATE: December 26, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKEHARA, TORU	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DAINIPPON PRINTING CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2000175797

APPL-DATE: June 12, 2000

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an itinerary guide system is which tourists need not to follow a troublesome procedure, etc., even when the tour is not conducted by a conductor like an individual tour or a tour of a group of a small number of people and enables a travel agent side to save the labor for tour conducting operation and provide services complying with various customer needs.

SOLUTION: A user (tourist) accesses an itinerary managing server 1 through the Internet 6 by using a user terminal 2, selects tourist resorts, hotels, etc., and applies for a tour. The itinerary managing server 1 reserves the application contents to a hotel service terminal 3, a transportation service

terminal 4, and a sightseeing service terminal 5 through the Internet 6 when they need to be reserved. Then the itinerary managing server 1 records the application contents to an IC card. The IC card is sent to the user before the user starts on the journey. The user starts on the journey with the IC card, inserts the IC card into each service terminal installed at a visiting place of the tour to display tour information, and can obtain information needed for the tour at each time.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-357101
(P2001-357101A)

(43) 公開日 平成13年12月26日 (2001. 12. 26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	1 1 2	G 0 6 F 17/60	1 1 2 E 5 B 0 4 9
	1 4 4		1 4 4
	5 1 0		5 1 0

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-175797(P2000-175797)

(22) 出願日 平成12年6月12日 (2000. 6. 12)

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 竹原 徹

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 100111659

弁理士 金山 聡

Fターム(参考) 5B049 AA01 AA06 CC02 CC32 DD04

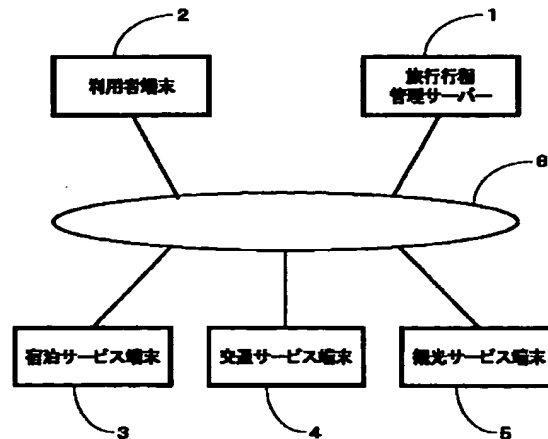
EE21 FF04 GG06 GG07

(54) 【発明の名称】 行程案内システム

(57) 【要約】

【課題】 個人や小人数のグループによる旅行のような添乗員が同行しない旅行であっても、旅行者が煩わしい手続き等を行う必要が無く、また、旅行業者側としても添乗業務の省力化と顧客要求の多様化に対応したサービスを行うことが可能な行程案内システムを提供する。

【解決手段】 利用者（旅行者）は、利用者端末2よりインターネット6を介して旅行行程管理サーバー1にアクセスし、観光地、宿泊先等を選択して旅行の申込みを行う。旅行行程管理サーバー1は申込みされた内容のうち、予約が必要なものについては、宿泊サービス端末3、交通サービス端末4、観光サービス端末5に対してインターネット6を介して予約を行う。続いて、旅行行程管理サーバー1からICカードに、申込みされた内容を記録する。このICカードは旅行出発前に利用者に送付される。利用者は、このICカードを持って旅行に出掛け、旅行途中の立ち寄り先に設置された各サービス端末にICカードを差し込むことにより旅行情報を表示させ、旅行に必要な情報をその都度得ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】旅行者の旅行行程全体を管理する旅行行程管理サーバーと、前記旅行行程管理サーバーとデータの授受が可能なように接続された複数のサービス端末により構成された行程案内システムであって、

前記旅行行程管理サーバーは、旅行者の旅行情報を記録媒体に記録するための記録媒体書込み装置を備えており、

前記各サービス端末は旅行情報が記録された前記記録媒体から情報の読取および記録を行うための記録媒体読取／書込み装置を備えていると共に、前記記録媒体読取／書込み装置により読み取られた旅行情報を表示する機能を有することを特徴とする行程案内システム。

【請求項2】目的地の位置を示した目的地位置情報、旅行者の個人情報である旅行者個人情報、宿泊予定の宿の情報を記録した宿泊予定情報を記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ICカード等の携帯に適した記録媒体を利用して、旅行者に対して旅行行程を案内するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、旅行者が複数の訪問先を結んだ旅行の手配を旅行代理店に依頼する場合、団体客に対しては旅行代理店と綿密な打合わせを行い、必要に応じて顧客の代表者と共に訪問先の下見を行った上、催行日には添乗員が同行し、各地での交通機関の搭乗手続きおよびチケットの取り扱いを代行することが行なわれている。これに対して、個人および小人数の旅行者グループには、このような綿密なサービスは現実的ではないため、旅行先の各地での窓口を通して間接的なサービスを提供することが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の旅行代理店業務では、個人や小人数の旅行者は全行程の申込みを店頭で完了した後も、予約状況の確認などのため、繰り返し電話連絡や店頭訪問を行う必要がある。旅行中も予約の証明書やチケットを自身で所持し、旅行途中での交通機関や宿泊施設への連絡や手続きを行う必要があり、特に海外へ出かけたときには、予約内容の確認や訪問先の位置や目的の説明を、言語的な問題を抱えながら行う必要がある。また、代理店で全行程の費用を一括して前払いする慣習も一般的であり、旅行を中断しても原則的には残りの行程の費用は決裁済みとなってしまう。

【0004】上記の点に鑑み、本発明は、個人や小人数のグループによる旅行のような添乗員が同行しない旅行であっても、旅行者が煩わしい手続き等を行う必要がなく、また、旅行業者側としても添乗業務の省力化と顧客要求の多様化に対応したサービスを行うことが可能な行

程案内システムを提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明では、行程案内システムを、旅行者の旅行行程全体を管理する旅行行程管理サーバーと、前記旅行行程管理サーバーとデータの授受が可能なように接続された複数のサービス端末により構成し、さらに旅行行程管理サーバーが旅行者の旅行情報を記録媒体に記録するための記録媒体書込み装置を備え、各サービス端末が旅行情報が記録された前記記録媒体から情報の読取および記録を行うための記録媒体読取／書込み装置を備えていると共に、前記記録媒体読取／書込み装置により読み取られた旅行情報を表示する機能を有するようにしたことを特徴とする。本発明によれば、旅行行程管理サーバーが各旅行者の旅行行程を管理し、旅先でサービス端末において、ICカード等の携帯可能な記録媒体に記録された情報を読み取らせることにより、予約確認、目的地確認等を行うようにしたので、個人や小人数のグループによる旅行のような添乗員が同行しない旅行であっても、旅行者がICカード等の記録媒体の提示だけで旅先における手続き等を行うことができ、また、旅行業者側としても添乗業務の省力化が可能となる。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について、図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明による行程案内システムの一実施形態を示す構成図である。図1において、1は旅行行程管理サーバー、2は利用者端末、3は宿泊サービス端末、4は交通サービス端末、5は観光サービス端末、6はインターネット等のネットワーク回線である。

【0007】図1中、旅行行程管理サーバー1は、旅行代理店に設置されたコンピュータシステムであり、旅行行程、地図情報、旅行行程における宿泊先、目的地、交通機関の情報、および顧客からの旅行代金の入金の有無等の顧客の旅行行程全般に関する情報を管理する機能を有する。また、旅行行程管理サーバー1はインターネット6上におけるWEBサーバーとしての機能を有し、WEBブラウザを搭載した利用者端末2、宿泊サービス端末3、交通サービス端末4、観光サービス端末5からアクセス可能となっている。さらに、旅行行程管理サーバー1は、ICカードライタ（図示せず）と接続されており、旅行者情報、目的地情報、行程情報等の旅行情報をICカードに記録可能となっている。

【0008】利用者端末2は、一般の利用者が用いるコンピュータ端末であり、パーソナルコンピュータにWEBブラウザを搭載したもので実現できる。宿泊サービス端末3は、ホテル、旅館などの宿泊施設に設置されたコンピュータ端末であり、WEBブラウザを搭載していると共に、ICカードリーダ／ライタが接続されており、ICカードからの情報の読み込み、およびICカードへ

の情報の書込みが可能となっている。交通サービス端末4は、タクシー、レンタカーなどの車両に設置されたコンピュータ端末であり、WEBブラウザを搭載していると共に、無線によりインターネットに接続するための通信機能を有し、ICカードリーダー/ライタが接続されている。観光サービス端末5は、飲食店、みやげ物店等の店舗内に設置されたコンピュータ端末であり、WEBブラウザを搭載していると共に、ICカードリーダー/ライタが接続されている。

【0009】次に、図1に示した行程案内システムの処理動作について図2のフローチャートを用いて説明する。利用者は、旅行の予約を行う際には、まず、利用者端末2からインターネット6を介して旅行行程管理サーバー1に開設されている旅行業者のWEBサイトにアクセスする。ここで、利用者は、利用者端末2の画面に表示された内容に従って、出来合いの旅行プランを選択するか、または、自分で複数の目的地、宿泊施設等を指定して組み合わせるなどして、旅行行程を決定して申込みを行う(ステップS1)。申込みが旅行行程管理サーバー1で受け付けられると、申込まれた内容の旅行情報が旅行行程管理サーバー1に登録される。登録された旅行情報の内、宿泊施設等、予約を必要とするものについては、インターネット6を介して予約が行われる(ステップS2)。具体的には、例えば宿泊施設の場合、宿泊施設に設置された宿泊サービス端末3にアクセスし、予約が空いていることが確認できると、宿泊サービス端末3に旅行者IDが登録されることにより、予約が行われる。続いて、この旅行情報は、ICカードライタによりICカードに記録される(ステップS3)。ICカードに記録される旅行情報としては、目的地位置情報、地図情報、旅行者個人情報、宿泊予定情報、購入予定情報がある。

【0010】ここで、目的地位置情報の一例を図3に示す。目的地位置情報とは、旅行中に訪れる予定の各目的地の位置を示す情報であり、図3の例では、緯度・経度で定義されている。目的地位置情報は交通サービス端末4に読み込むことにより運転手が地図上において位置を確認するために使用されるものであるため、交通サービス端末4上に表示される地図上において目的地の位置が正確に示されれば良い。そのため、交通サービス端末4およびこの交通サービス端末4に読み込まれて表示される地図情報との整合性が保たれていれば、緯度・経度以外の基準により特定される情報であっても良い。

【0011】地図情報は、目的地の位置を認識するために交通サービス端末4に表示されるものである。そのため、目的地の位置を含む地図は必ず用意されることになる。

【0012】旅行者個人情報は、旅行者自身に関する個人情報であり、旅行中においてその人物を特定するために利用され、旅行代金の決済のために利用することもある。旅行者個人情報は、旅行者を特定するための旅行

者ID、旅行者の住所、氏名等により構成される。また、宿泊サービス端末3において読み込むことにより宿泊業者側は旅行者を確認することができるため、従来のように住所、氏名をわざわざ記載する手間が省ける。

【0013】宿泊予定情報は、旅行中の予定宿泊先を全て記録したものであり、宿泊予定の日付と対応付けて記録されている。この宿泊予定情報は、旅行者個人情報と共に宿泊サービス端末3で読み取られることにより、宿泊業者は、その旅行者の前日の宿泊先、翌日の宿泊先を確認することができる。この宿泊予定情報は、日帰り旅行の場合は、ICカードには記録されない。

【0014】購入予定情報は、購入予定の商品、飲食予定の料理名を記録したものであり、店舗と対応付けて記録されている。この購入予定情報は、観光サービス端末5により読み取られて表示される。これにより、旅行者はその店舗の名物などをメモしておく必要がなくなる。

【0015】上記のような旅行情報が記録されたICカードは、郵送などの手段により、旅行出発日までに利用者の手元に届くように送付される(ステップS4)。

【0016】利用者は、このICカードを持って旅行に出かける。列車などを利用して目的地付近の駅に着くまでは従来と同様である。目的地付近の駅に到着した後、駅から目的地までタクシーを利用するとする。タクシー内には、交通サービス端末4が設置されている。交通サービス端末4のICカード差込口に利用者が持参したICカードを差し込むと、目的地位置情報が読み出され、交通サービス端末4が有するディスプレイに複数の目的地が表示される。この中から目的地を1つ選択すると、選択された目的地の位置に対応する地図情報がICカードから読み出され、選択された目的地付近の地図が表示される。タクシーの運転手は、この地図を見ながら運転を行い、目的地に到達することができる。このため、タクシー運転手がその場所を知らず、利用者も目的地の正確な場所がわからなくても、ICカードを交通サービス端末4に差し込むだけで正確な場所を知ることが可能となる。(ステップS5)

【0017】目的地として地元の名物が食べられる飲食店Bを目指し、到着したとする。この飲食店Bには、観光サービス端末5が設置されている。観光サービス端末5にICカードを差し込むと、ICカードにあらかじめ登録した料理名が表示される。これにより、利用者は、自分が当初食べたいと考えていた料理名を忘れてしまっても、その料理名を知ることが可能となる。(ステップS6)

【0018】やがて、その日の宿泊先であるホテルに到着したとする。ホテルには宿泊サービス端末3が設置されている。宿泊サービス端末3にICカードを挿入すると、ICカードに記録された旅行者個人情報、宿泊予定情報が読み出され、宿泊サービス端末3の画面上に表示される。この個人情報は必要に応じて、宿泊サービス端

末3に接続されたプリンタで印刷することができる。これにより、利用者は、従来のように、宿泊者の名前や住所等を記載する煩わしい作業を行う必要がなくなる。また、宿泊サービス端末3では、読み取った旅行者個人情報の旅行者IDと宿泊サービス端末3において管理されている当日の予約情報内の旅行者ID（上記ステップS2において予約されたもの）とを照合し、当日の予約客であるかどうかを確認する。（ステップS7）

【0019】以上、本発明の好適な実施形態について説明したが、本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、種々の変形が可能である。例えば、上記実施形態では、各サービス端末において、ICカードの旅行情報を読取り、行程案内、予約確認を行っているだけであるが、各サービス端末、ICカード双方に利用履歴および利用料金の情報を記録しておくことにより、旅行代金の決済を各サービス端末で行うことも可能である。このようにすることにより、旅行を中断した場合には、中断前の実際に利用したものについてだけ課金が行なわれることになり、利用者は旅行代金のことをあまり気にせずに旅行行程の変更を行うことができる。

【0020】また、上記実施形態では旅行情報を記録するための記録媒体として、ICカードを用いた例で説明したが、携帯可能であれば、磁気カード等の他の記録媒体でも良い。ただし、磁気カードのような記憶容量の小さい記録媒体では、地図情報のような比較的大きなデータを記録することができないため、この場合は、地図情報等をあらかじめ交通サービス端末4に記憶させておく必要がある。

【0021】また、上記実施形態では交通サービス端末4をタクシー等の車両に設置した場合について説明した

が、建物内のエレベータなどに設置しても良い。エレベータのような高低方向に移動するものに交通サービス端末4を設置した場合は、高低方向の情報をさらに目的地位置情報に加える必要がある。

【0022】

【発明の効果】以上、説明したように本発明によれば、旅行行程管理サーバーが各旅行者の旅行行程を管理し、旅先でサービス端末において、ICカード等の携帯可能な記録媒体に記録された情報を読み取らせることにより、予約確認、目的地確認等を行うようにしたので、個人や小人数のグループによる旅行のような添乗員が同行しない旅行であっても、旅行者がICカード等の記録媒体の提示だけで旅先における手続き等を行うことができ、また、旅行業者側としても添乗業務の省力化が可能となるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による行程案内システムの構成図である。

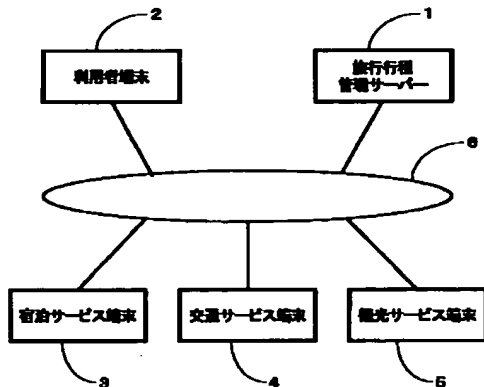
【図2】本発明の行程案内システムの処理動作を示すフローチャートである。

【図3】ICカードに記録される目的地位置情報の一例を示す図である。

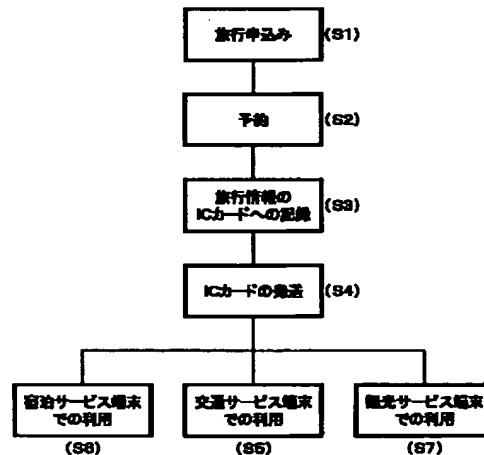
【符号の説明】

- 1・・・旅行行程管理サーバー
- 2・・・利用者端末
- 3・・・宿泊サービス端末
- 4・・・交通サービス端末
- 5・・・観光サービス端末
- 6・・・インターネット

【図1】



【図2】



【図3】

目的地位置情報

	緯度	経度
A温泉	一度一分	一度一分
飲食店B	一度一分	一度一分
ホテルC	一度一分	一度一分
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮